

筑紫野市庁舎建設設計・施工一括発注プロポーザル
審査結果報告書

平成 28 年 9 月

筑紫野市庁舎建設設計・施工一括発注
プロポーザル審査委員会

1. 選定結果

最優秀者 前田建設・九州建設・久米設計・匠建築特定建設工事共同企業体

優秀者 戸田建設・佐藤総合計画特定建設工事共同企業体

2. 選定概要

(1) 選定方法

筑紫野市庁舎建設事業に係る設計業務及び施工業務の事業者を公募型プロポーザル（以下「プロポーザル」という。）により選定するにあたり、筑紫野市庁舎建設設計・施工一括発注プロポーザル募集要項（以下「募集要項」という。）に基づき、公募により参加者を募集し、筑紫野市庁舎建設設計・施工一括発注プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）による一次審査及び二次審査を経て、最優秀者及び優秀者を選定しました。

(2) 一次審査

3者から参加表明書等の提出があり、全ての参加者がプロポーザルへの参加資格を満たすことを確認した上で、筑紫野市庁舎建設設計・施工一括発注プロポーザル審査要領（以下「審査要領」という。）に基づき、「実績・体制の評価」について評価を行いました。

その結果、二次審査の技術提案の提出、プレゼンテーション及びヒアリング要請者について、「5者程度を選定する」としていましたが、参加資格を満たす者が3者であったことから、全3者が相応しいことを確認し、選定しました。

(3) 二次審査

二次審査では、全体管理、業務実施方針及び特定のテーマについての技術提案、提案価格見積書について評価を行うこととし、一次審査で選定した3者から提出を受けた技術提案書及び技術提案資料についてのプレゼンテーション、

ヒアリングを踏まえ、審査要領に基づき評価を行いました。

その結果、一次審査と二次審査の評価点の合計が最も高い者を最優秀者に、次に高い者を優秀者に選定しました。

(4) 評価点の配点及び評価項目

評価点の配点は、100点満点での評価とし、一次審査の【実績・体制の評価】で30点、二次審査の【技術提案の評価】で70点を配分し、評価を行いました。

また、各評価項目の配点は、下表のとおりとしました。

【実績・体制の評価】

大項目	小項目		判断基準	評価点	
企業の評価	設計業務の実績		実績の種類、規模、件数について評価する。	12	
	施工業務の実績				
業務全体の 実施体制	統括代理人の実績及び資格		DB方式であることを踏まえて、適切な統括代理人を配置できるか。	6	
設計業務の 実施体制	設計管理技術者と設計主任技術者の実績及び資格	設計管理技術者	基本設計及び実施設計を行うのに望ましい技術者を配置できるか。	6	
		主任技術者			建築
					構造
					電気設備
機械設備					
施工業務の 実施体制	現場代理人、監理技術者及び施工担当者の実績及び資格	現場代理人	施工を行うのに望ましい技術者を配置できるか。	6	
		監理技術者			
		施工担当者			建築（総合）
					電気設備
機械設備					
			計	30	

【技術提案の評価】

大項目	小項目	判断基準	評価点
全体管理	工程計画	業務の理解度、的確性、創造性、実現性を考慮し総合的に評価する。	4
	進捗管理計画		4
	コスト管理計画		4
業務実施方針		取組体制、特徴、特に重視する事項等について、的確性、創造性、実現性を考慮し総合的に評価する。	12
特定のテーマについての技術提案	①地域コミュニティとの連携拠点、安全安心の防災拠点、行政サービスの拠点として、市民が集える将来を見据えたコンパクトな庁舎	基本計画の理解度、取組意欲、的確性、創造性、実現性を考慮し総合的に評価する。	12
	②省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用等による環境負荷の低減、経済性や耐久性を考慮したライフサイクルコストの縮減を実現するための方策		12
	③市内業者の工事参加の考え方及び事業者として災害対策や地場産業育成等の地域貢献に対する考え方		12
提案価格		業務コストの妥当性	10
計			70

(5) 審査結果

順位	参加者名	評価点
第1位	«最優秀者» 【提案者A】 前田建設・九州建設・久米設計・匠建築特定建設 工事共同企業体	79.125点
第2位	«優秀者» 【提案者C】 戸田建設・佐藤総合計画特定建設工事共同企業体	71.875点
第3位	【提案者B】	64.375点

3. 審査委員会

(1) 委員の構成（順不同、敬称略）

	氏名	所属等
委員長	坂井 猛	・九州大学大学院人間環境学府 教授 ・九州大学キャンパス計画室 副室長
副委員長	藤木 正文	・筑紫野市副市長
委員	有馬 隆文	・佐賀大学芸術地域デザイン学部 教授
委員	田辺 清喜	・（一財）福岡県建築住宅センター 理事長
委員	林田 正義	・筑紫野市区長会 会長
委員	北橋 正行	・筑紫野市総務部長
委員	宗貞 繁昭	・筑紫野市企画政策部長
委員	永利 啓次	・筑紫野市建設部 建築課長

(2) 開催経過

	日時	議題
第1回	平成28年5月25日（水）	・募集要項、審査要領 ・筑紫野市庁舎建設事業要求水準書
第2回	平成28年6月30日（木）	・参加者の参加資格の確認 ・実績体制の評価（一次審査）
第3回	平成28年8月30日（火）	・技術提案等の評価（二次審査） ・最優秀者、優秀者の選定

4. 審査講評

審査委員会は、今回のプロポーザルの目的が筑紫野市庁舎建設事業を設計・施工一括発注方式（以下「DB方式」という。）で実施するにあたり、「筑紫野市庁舎建設基本計画」を十分に理解し、高い技術力及び豊富な経験等を有する事業者を選定するものであることを念頭に、募集要項及び審査要領に基づき、参加者に対する評価を行いました。

全体的な評価として、いずれの参加者もDB方式という特徴的な事業方式のメリットを活かしたレベルの高い提案でした。

特に、各参加者より、工程計画や進捗管理計画について、設計者と施工者及び発注者である筑紫野市が一体となり事業に取り組み、工期遵守や工期短縮を実現するための多様な提案がなされました。

〈最優秀者〉

【事業者A】前田建設・九州建設・久米設計・匠建築特定建設工事共同企業体

本プロポーザルの趣旨を十分に理解し、信頼性の高い安心感のある的確な提案でした。特に、免震構造の考え方、具体的な工期短縮案が示された工程計画、災害発生時にも庁舎機能を維持しつつ迅速な対応ができる安全安心な庁舎の提案が高く評価されました。

〈優秀者〉

【事業者C】戸田建設・佐藤総合計画特定建設工事共同企業体

本プロポーザルの趣旨を理解した上で、アイデアに富んだ施設配置計画の工夫、コンパクトにまとめた庁舎機能の提案、及び本事業への意欲的な取り組み姿勢が評価されました。

以上、最優秀者と優秀者を選定しましたが、今回の審査はあくまでプロポーザルに基づく提案であり、参加者から示された提案内容は庁舎建設の最終形ではありません。今後、行政と最優秀者が協議を重ね、市民が求める庁舎建設事業が進むことを期待します。

最後に、多大な時間と労力を費やし真摯に取り組んで頂きました参加者の皆さまに、敬意を表するとともに心からの感謝を申し上げ、講評として報告します。

筑紫野市庁舎建設設計・施工一括発注プロポーザル審査委員会

委員長 坂井 猛